

県 広 報

# とやま

TOYAMA PREFECTURAL REPORT

特集/災害に強い県づくり







「戦争映画ということ、出演の話が来たときは自分にできるか少し不安でした。でも、いま撮り終えてみてとても満足のいく役作りができたと思います。」と間もなく公開予定の映画『ひめゆりの塔』に出演している早勢美里さん。

「先には逃げようという先輩を必死に励ますノブの姿は自分で演じていても感動的でした。相手役の子とはホテルの部屋が同じだったので、前夜も二人で台詞の稽古をしたんです。本番を撮り終えた後も、しばらく涙が止まりませんでしたね。」

「戦争映画という話、出演の話が来たときは自分にできるか少し不安でした。でも、いま撮り終えてみてとても満足のいく役作りができたと思います。」と間もなく公開予定の映画『ひめゆりの塔』に出演している早勢美里さん。

「先には逃げようという先輩を必死に励ますノブの姿は自分で演じていても感動的でした。相手役の子とはホテルの部屋が同じだったので、前夜も二人で台詞の稽古をしたんです。本番を撮り終えた後も、しばらく涙が止まりませんでしたね。」

# 少女たちの純粋さを

## 伝えたい

女優 早勢美里さん



### 5 CONTENTS

5月号もくじ

とやま遊学感	表紙
撮影/赤羽仁諭(富山県写真家協会会員)	表2
富山県生涯学習カレッジ 映像センター	1
ひとアズとやま/早勢美里さん (女優)	1
クローズアップ	2
① 深層水利用研究棟完成	2
② 新交通管制センター運用開始式	2
③ 富山くワラジオストク便本格就航	2
特集/災害に強い県づくりをめざして	4
PINUP TOYAMA	8
写真/松田 勉(富山県写真家協会会員)	8
詩/池田瑛子(富山現代詩人会会員)	10
ふるさとみてある記(利賀村)	10
① 富永一郎とが漫画館	12
② 河童の里	12
③ 利賀植物友の会	12
エッセイ/岡本輝夫 (朝日町ふるさと美術館館長)	12
富山県における主要プロジェクト	13
立山砂防総合博物館(仮称)構想	14
県からのお知らせ	14
暮らしのアドバイス	16
とやまの祭事記/お雛さま祭り (大沢野町)	表3



# 映像で広がる学び心

## 富山県生涯学習カレッジ 映像センター

レポーター:富山県立大学 成田美智子さん (表紙の人)



110インチ大型ハイビジョンの迫力ある映像

今回私が訪れたのは、富山県の生涯学習の拠点となる富山県生涯学習カレッジ内に平成五年六月に開設された「映像センター」です。ここでは、皆さんの生涯学習に役立ててもらえるよう、様々な映像の収集、制作、提供が行われています。

まず案内してもらったのが「ハイビジョン学習室」。ここでは、一〇インチ大型ハイビジョン(愛称:ハイまなびジョン)の迫力ある映像を使った学習ができます。実際に、富山県内の様々な曼荼羅をテーマにした静止画ソフトを見せてもらいましたが、大画面にもかかわらず曼荼羅絵図の細部まで



マルチメディアを使った「ふるさとマルチ」

案内してもらった「ふるさとブース」では、県民カレッジが制作した郷土学習教材映画など約三百本を自由に鑑賞することができます。特に、富山の古い貴重な映像は興味深く、郷土をもっと知りたい気持ちにさせてくれました。また、いま注目を集めているマルチメディアを使ったパソコンシステム「ふるさとマルチ」では、コンピュータと対話しながら郷土について楽しく学習できます。さらに、「映像工房」には最



郷土の映像盛り沢山の「ふるさとブース」

約1500本の映像フィルムが保管される

リアルに表現するハイビジョンの実力にびっくり。次に

このように、「映像で学ぶ」、「映像を活用する」、「映像をつくる」ことができる映像センター。みなさんも気軽に訪れて、映像を通して学び心を広げてみませんか?

所在地	富山市舟橋北町7-1 (富山県教育文化開館3階)
休館日	日曜日、祝日、年末年始
開館時間	午前9時~午後5時 (土曜日は午前9時~12時)

\*利用は無料。ハイビジョン学習室、映像工房、スタジオの利用は、3か月前より受付。



思い思いのビデオ編集ができる「映像工房」



# 交通の円滑化へ 最新設備を導入

## 県警の新交通管制センター完成



信号機を制御し、交通情報を収集する県警本部の「交通管制センター」の運用開始式が三月二十二日、中沖知事や上田県警本部長ら関係者四十人が出席し、県警本部庁舎八階の同センターで行われました。式では、上田県警本部長が「最新の設備で快適な社会の実現に尽力したい」とあいさつ。また、中沖知事は「百二十万県民の交通の安全や全県三十分交通圏の確立に役立てて欲しい」と祝辞を述べました。今回完成した交通管制センターには、これまで一台だった中央コンピューターが二台に増設されたほか、

か、主要交差点の車の流れや交通規制状況などを映し出す十二のモニター画面なども増設されました。このシステムの完成で、全県域の交通量や渋滞状況が瞬時に把握できるようになり、より迅速な渋滞情報の提供が可能になりました。また将来的には、渋滞や道路地図などの情報を走行中の車に伝達できるシステムへの対応も可能なものになっています。この新システムは、県内の交通渋滞の解消に向け、今後威力を発揮していくことと見られます。

# 水深300mの 資源利用

## 深層水利用研究施設完成



県水産試験場の深層水利用研究施設の完成式が三月十六日同試験場で行われました。式には、中沖知事や上之門水産庁開発課長ら、国、県、市などの関係者約百人が出席。修ばつ式、テープカットのあと、施設を見学しました。

日本三大深湾のひとつである富山湾は、三種類の海水が層をなしており、その深層三百m以深は、低温(二度以下)で栄養塩に富む日本固有冷水で占められています。同施設はこの深層水の有用性に着目し、幅広い活用を研究するもので、全国では高知県に次いで二番目のものになります。施設は、深層水取水管、サクラマス飼育棟、低温飼育棟などからなり、熱

# 友好と経済交流の 架け橋に

## 富山ーウラジオストク便本格就航



富山ーウラジオストク便が四月十一日、週二便体制で再開することを記念し、その就航記念式典が同日、富山空港エプロンで行われました。

式典では中沖知事が「ウラジオストク便の本格就航は、富山県と沿海地方の友好のみならず、環日本海地域の交流に大きく寄与することになるとあいさつ。引き続きアエロフロート・ロシア国際航空のアレクシー・グリシン富山支店長が「友好と経済交流の架け橋となるよう願っている」と述べました。宝賀副知事の壮行の辞、知事、機長、乗客代表へのミスからの花束贈呈に続いてテープカットが行われ、関係者は就航を祝いました。その後、中沖知事を団長とする富山県ウラジオストク友好代表団五十名が初便でウラジオストクに向かつて飛び立ちました。到着後、友好代表団の代表は、沿海地方政府副知事、文化局長らと懇談。お互いの交流の発展について協議しました。

この本格就航で、富山県が日本におけるロシア沿海地方への窓口としての役割を担うことが期待されます。



野への活用が期待されます。

交換機を用いて深層水、表層水、地下水を各生物の適水温に調温して給水するシステムや深層水を〇・五度に冷却するシステムなどが整備されています。これにより、深層性、冷水性生物の生態研究や親魚養成、種苗生産試験が可能となりました。

既にサクラマス、ベニズワイガニ、トヤマエビなどの増殖研究に取り組んでいますが、今後は生態に謎の多いホタルイカやバイ貝などの研究や飼育実験を進めていきます。さらに水産分野以外でも医薬、科学、食品など、様々な分野への活用が期待されます。

## 県政の動き

平成7年3月11日～4月11日

- 3月15日 県立保育専門学院卒業式  
県立総合衛生学院卒業式
- 3月16日 深層水利用研究施設完成式
- 3月22日 新交通管制センター運用開始式  
立山カルデラ砂防博物館(仮称)第2回開設準備委員会
- 3月25日 TOYAMA NOW in 原宿 '95 (~29日)
- 3月27日 県庁前公園花時計始動式
- 4月3日 辞令交付式
- 4月7日 富山県立大学入学式  
富山県林業カレッジ開校記念式
- 4月9日 いきいき富山観光キャンペーン'95 オープニングフェスティバル  
統一地方選挙 富山県議会議員選挙 投票日
- 4月11日 富山ーウラジオストク便本格就航記念式典





▲神戸市長田区御蔵通りの建物倒壊・火災現場

去る1月17日の「阪神・淡路大震災」では、5千人以上の人命が失われ、30万人以上が家屋の倒壊などの被害に見舞われました。

私たちは、地震や台風、洪水、雪害などの自然災害そのものを、くい止めることは出来ません。しかし、それらが起こったとき、被害を最小限に抑えることは可能です。

県では、今回の大震災を教訓に、現在の地域防災計画をより具体的かつ実戦的なものにするため様々な角度から見直しを行い、災害に強い県づくりに努めていきます。

# 災害に強い県づくりをめざして

## 地域防災計画の見直し

阪神・淡路大震災では、指揮命令や、情報の収集伝達、交通対策などの対応が十分でなかったという指摘があります。これらを教訓として、本県で大規模な地震が発生した場合の被害を想定し、現行の地域防災計画を見直します。

### (1) 見直しの基本方針

地域防災計画は次の三点を基本方針に見直しを行います。

- ▼県内の各地域が地震に対して持っている危険度に応じ、想定される震度・被害に応じた地域防災計画とする。
- ▼地域防災計画の内容をより実践的、具体的なものにする。特に、情報収集伝達体制、指揮命令体制、初動体制の確立など、「緊急時の即応体制」が強化された地域防災計画とする。
- ▼現行の地域防災計画を構成する「風水害・火災編」、「雪害編」、「地震編」のうち、まず「地震編」を中心に見直し、関連部分についても所要の見直しを行う。

### (2) 見直しの視点

災害の段階を次の四つに分け、各々について手順や対応計画を再検討します。

- ▼災害前（平常時）の段階  
道路などの公共施設や防災拠点施設の安全確保対策を検討するなど、地震に強いまちづくりを進める。
- ▼災害直後（緊急時）の段階  
迅速で多様な情報収集伝達体制を確保する。また、災害対策要員の動員などの初動体制、交通規制などによる緊急車両用道路の確保体制を整備する。
- ▼災害応急の段階  
水道や電気、ガスといったライフライン（生命線）

### (3) 具体的なマニュアルの策定

それぞれの防災関係機関が迅速・的確に対応するため、災害要員の招集方法や指揮命令系統などの具体的な行動マニュアルを策定し、周知徹底を図ります。

### (4) 防災訓練の実施

都市型震災に対する災害応急態勢が直ちにとれるように、災害対策要員の動員、指揮命令の実行など、実践的な防災訓練を実施します。



▲富山県総合防災訓練風景



▶倒壊家屋からの救出作業

の確保や、飲料水、食料、医薬品などの生活関連物資、毛布、ビニールシートなどの災害救助関連物資の備蓄による供給体制を強化する。さらに高齢者、障害者などの災害弱者への対応を強化する。

▼復旧・援助の段階  
ボランティアに対する支援、被災者に対するカウンセリングの実施など、平常の状態に戻るまでの復旧・援助活動について検討する。



▶長田消防署に集結する応援車両

## 消防防災ヘリコプターの導入

県では、平成五年に導入についての検討委員会を設置し検討を行ってきた消防防災ヘリコプターを今年度中に導入し、広域的かつ機動的な消防防災体制の整備を図ります。

これにより、早期における災害の実態把握、空からの消火や人命の救助、負傷者や医師の搬送、緊急物資の輸送、さらには住民への避難誘導など幅広い防災活動が可能になります。

## 地震津波に関する影響調査

地震による被害を最小限に食い止めるには、その被害や対策を科学的に調査することが不可欠です。このため県では、県内で直下型地震が起きた場合の震度や地盤の危険度を予測するとともに、被害がどの程度に及ぶかの影響調査を進めていきます。また、近海で海底地震が起きた場合、富山湾沿岸一帯に、どのくらいの時間で、どの程度の津波が押し寄せるといつても調査を行います。

この他、防災拠点となる県有施設などの耐震調査も実施します。



# 富山県における地震の実態



横倒しになった高速道路▶ (長田区)

富山県の過去二十年間（昭和五十年～平成六年）における有感地震の発生回数は、三十八回で、年平均一・九回と全国的に見ても地震が少なく、比較的安全な県だといわれています。

しかし、過去においては安政の大震災（一八五八年）により大きな被害を受けていることや、阪神・淡路大震災のような直下型地震の原因となる「活断層」が存在することも事実です（図参照）。また、昭和五十八年の日本海中部地震における津波による被害は、日本海で大きな津波は起きない」という定説をくつがえしました。周期的な活動を繰り返している地震ですが、富山県でも決して無縁でないと考えるべきでしょう。



県内の活断層分布図

## 富山県は大丈夫？

富山大学助教授 竹内章さんに地震についてお話を伺いました。



竹内助教授

### Q 地震が起こる仕組みは？

陸地が乗っている大陸プレートが海プレートに引きずりこまれ、限界に達すると反動で大陸プレートが跳ね返ります。これが、プレート境界型地震といわれるものです。これに対し、今回の阪神・淡路大震災のように、活断層と呼ばれる地殻の浅いところでのズレの活動で引き起こされるのが、内陸直下型地震です。

### Q 富山県で大きな地震が起きる可能性は？

安政の大震災（一八五八年）以来、目立って大きな地震が富山県で起こっていないことが、安全というイメージにつながっているのでしょうか。しかし、直下型地震の原因となる活断層も富山県には比較的多く存在しますし、今回の大震災も安全といわれた阪神地区で起こったことから、決して安心してはいけません。

### Q 海底地震による津波の影響は？

富山湾は、海底が深いことや、佐渡ヶ島や能登半島といったある意味での防波堤を持っているため、津波の影響を受けにくいといえます。しかし、あくまでそれは震源地が湾の外の場合です。糸魚川沖などが震源地になれば、津波が湾の中で反射し、増幅されることも考えられます。

### Q 活断層がもたらす直下型地震の特徴は？

一つの活断層で起こるマグニチュード7クラスの大地震の間隔は千年位だといわれています。しかし、直下型地震はマグニチュード5、6といった中規模のものでも局地的に大きな被害をもたらすことがあります。また、活断層そのものが多く存在すれば、それだけ地震の頻度も高くなるわけですから、直下型地震の間隔は決して長いとはいえないのです。

### Q 今後、望まれる防災対策は？

水気を含んだ泥、砂などの軟弱な地盤では液状化が起こりやすく、また急傾斜地では当然地滑りなどが起こりやすい。そういった地域ごとの自然条件にあった地震対策を進めるべきでしょう。また、県内各地に地震計を設置し、従来気象台が行っている震度観測等を県でも行うことにより、各地の地盤の振動特性を調べることも必要だと思います。

## ●地震に対する心構え

地震の予知については、様々な研究が行われていますが、現在の観測技術では起こる時期についてはつきりとした予測が出来ないのが実情です。そのため、私たちが大切な生命や財産を守るために、口頃から地震に対して十分な心構えと備えをしておくなければなりません。特に家庭でできる身近な防災対策を積極的に行い、家族一人ひとりが防災意識を高めることが大切です。

### これだけは用意しておきなさい

いざという時に備え、非常持出袋に非常食や飲料水、携帯用ラジオなどを、すぐ持ち出せるようにまとめておきましょう。また、消火器の回りには物を置かず、いつでも使えるようにしておきましょう。

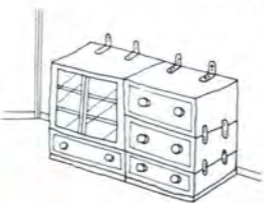


### 家族で話し合いを持つ

地震などの自然災害が起きた場合の避難場所や集合場所などを口頃から話し合っておきましょう。

## 家具類の転倒や物の落下を防止しなさい

地震はときには家具や電化製品を凶器に変えます。これらは壁に固定し、倒れないようにしておきましょう。また、ベランダから鉢植えなどが落下しないようにしておきましょう。



## もし地震が起きたら？

① まず、テーブルの下や押入れなどに入り、身の安全を確保します。どんな大地震でも揺れは一分程度。あわてて外に飛び出すと瓦や看板の落下でかえって危険です。



② 揺れがおさまったら、ガスコンロやストーブの火を確実に消しましょう。もし火が出た場合は、炎や煙に惑わされず、できるだけ近寄って消火を行うとともに、大声で近所の協力を求めましょう。

③ 避難する場合は、お年寄りや体の不自由な人、けが人などに声をかけ、みんなで助け合いまししょう。狭い路地や川べりなどには近づかないようにしましょう。また、うわさに振り回されず、ラジオで得た正しい地震情報をもとに行動しましょう。

## 災害に強い県づくりをめざして



私たち富山県民は、河川の氾濫から田畑や家屋を守るため、絶えず水害と闘ってきました。また、たび重なる豪雪や、魚津、水見、福光などで大火は、大きな被害をもたらしました。

しかし先人たちは、水害に対しては治水工事を積み重ねて克服したばかりでなく、その豊かな水を利して富山平野を全国有数の米どころとし、さらに水力発電により企業誘致をすすめるなど、今では「水の王国」と言われるまでになりました。また、雪に対しては、雪を克服する克雪、利用する利雪、そして今では雪に親しむ親雪といった発想も生まれ、全国の雪対策のモデル県になっています。火災に対しても、全国で最も火災発生件数の少ない県の一つとなりました。

そして今、私たちは阪神・淡路大震災の教訓を活かし、より災害に強い県づくりを進めなければなりません。そのためには、県民ひとり一人が日頃の備えを怠らず、自主防災に努めていきましょう。



ふと

時が立ちどまる

林のなかに湧く水の音を聴くように

こころの空を

掠<sup>かす</sup>めていったのは何だろう

影ふかい日常をゆらせば

さわやかなひかりに

呼び覚まされて

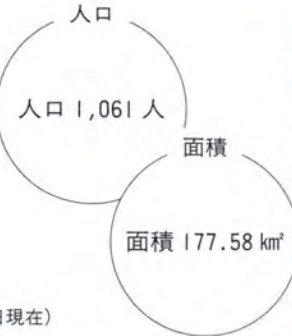
歌い出す若葉がみえるのに



# 利賀村

## 利賀村の概要

合掌造りを活用した利賀山房やギリシャ風の野外劇場がある合掌文化村では、夏に世界各国から舞台芸術を集めて、演劇祭が行われる。そば粉100%の手打ちそばや、山菜料理、どぶろく酒が味わえる秋の山まつりや冬のそば祭りも好評を博している。合掌文化村、そばの郷、瞑想の郷、そして昨年は河童の郷が整備された。



(平成7年2月1日現在)

## 河童は村を救う

### 河童の郷

「そばの郷」、「瞑想の郷」、「飛翔の郷」とあわせて地域活性化を目指し利賀村が進めてきた事業の一環として昨年九月にオープンしたのが「河童の郷」である。

「ユーモアがあつてかわいイメージの『河童』をネーミングに用いたのが良かったのか、お子様連れのご家族が多いですね。」と語るのは河童の郷管理組合代表の城岸一明さん。

この「河童の郷」の中心となる施設が「河童亭」。ステンドグラスが輝く木造二階建ての洒落た建物である。一階には地元の山菜やイワナを使った料理を出してくれる食堂や、村の特産品を扱う売店がある。二階には会議等に使える研修室があり、地域交流の場としても使用できる。「観光施設ですが、地元の人々の憩いの場でもあるんですよ。」と城岸さんは目を細める。「河童亭」の周囲には水辺を活かし、イワナのつかみ取りができる人工池や川魚の養殖地、特産の赤カブなどの菜園等からなる三千平方メートルの庭園が広がる。

「地元の若者が、この施設の運営も含めて、少しでもUターンしてくれれば。」という城岸さん。ときには村人を助けるといふ伝説がある「河童」が、利賀村振興にきつと一役かってくれるに違いない。



▲釣り堀で釣りを楽しむ家族連れ



▶河童の郷管理組合代表の城岸さん



▲河童亭の中にあるユーモラスなモニュメント



▲河童亭

## 色鉛筆から楽しい世界

### 富永一朗とが漫画館

人気テレビ番組「お笑い漫画道場」でおなじみの漫画家、富永一朗さんの原画約五十点が展示してあるのが、「富永一朗とが漫画館」だ。

「富永さんの出身地大分県をはじめとして全国に六か所ある富永さんの漫画美術館の中でも最大規模なんです。」と胸を張るのは、利賀村の教育長であり漫画館の館長でもある古野宏さん。

富永さんが平成四年七月に講演で初めて利賀村を訪れた際、芸術で名を高めているこの村をいたく気に入った。富永さんが「ぜひこの村に自分の美術館を」と村長に話したのがこの始まり。その後、富永さん自身の原画の寄贈があり、昨年四月、民家を改造した漫画館の開館となった。

一階には見えていて楽しい一枚漫画が整然と展示されている。富永さんの漫画は、色鉛筆だけで描かれているのが特徴だ。「ここを訪れた方々は、色鉛筆だけで出す色の繊細さに驚いておられるようですね。」と古野さん。また、二階では富永さんが来られた時に漫画教室を開くことも考えているそうだ。

今年七月に同館の隣に移転する「利賀村民俗館」や、すぐ近くにある「利賀 道の資料館」とともに、「富永一朗とが漫画館」は我々の目を存分に楽しませてくれそうだ。



▶漫画館館長の古野さん



▲民家の面影を残す漫画館



▲一枚漫画が整然と並ぶ館内



## 植物を愛でる心を育む

### 利賀植物友の会

「村の豊かな自然に親しみながら、草花や樹木についての知識を深めようと、昨年七月に結成したのがこの会です」と語るのは、「利賀植物友の会」の会長を務める京井喜代治さん。

会員は三十一名で、主婦をはじめ様々な職業の人たちで構成されている。「昨年の活動は野山の散策が中心でした。会のメンバーにはもと理科の先生もいるので、その方に草花の解説をお願いしました。なかなか好評でしたね。」京井さんは、最近の子供たちが自然と縁遠くなっているのを危惧しているという。「自分が子供の頃は、親に草花について色々教わったものですが、残念ながら今では教えることのできる大人たちはあまりいません。」何とかして村に自生する植物に親しんでもらいたい。そんな思いが募り、京井さんは昨年からの植物の標本づくりを行うようになった。「個人的に百種類余りの樹木を標本にしました。それらはいま道の資料館で展示、公開されています。今後は会のメンバーが主体となって、できるだけ多くの種類の標本づくりを手がけていきたいと思っています。」これからは京井さんをはじめ会のみなさんは、村民が忘れかけた植物を愛でる心を育てていくことだろう。



▲京井喜代治さん



▶利賀植物友の会のみなさん



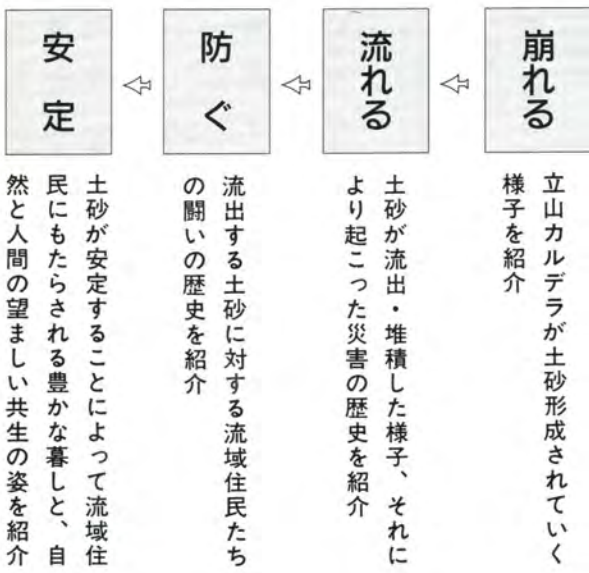
▶京井さんが収集した樹木標本の数々



# 富山県の 主要プロジェクト

年間約150万人の人々が訪れる「立山・黒部アルペンルート」。そのすぐ隣には、荒々しい岩肌を見せる崩壊地「立山カルデラ」があり、100年近くも人知れず営々と砂防事業が続けられています。そのような、いわば「知られざるもうひとつの立山」を紹介することを目的として、建設省立山砂防工事事務所と県が平成三年度から建設構想を進めているのが「立山カルデラ砂防博物館（仮称）」です。

▲立山カルデラ周辺



## 立山カルデラ砂防博物館（仮称）

### 建設構想

#### 本博物館構想の特色

- この構想における博物館の特色は次の三点です。
- (1) 立山カルデラの大自然と砂防事業の意義をテーマとする屋内ゾーン（屋内博物館）
  - (2) 野外ゾーン（野外博物館）における実体験重視型博物館
  - (3) 砂防に関する総合情報センター機能を備えた博物館

#### 屋内ゾーン（屋内博物館）における展示

屋内ゾーンでは、「流れる土砂」に着目して次のような物語が展開します。

#### 野外ゾーン（野外博物館）の体験

現地そのものを「生きている砂防の野外博物館」として位置づけたのが「野外ゾーン」です。ここでの体験により、立山の大自然の営みと人間の努力・英知たる砂防事業を実感できるよう、幾つかの見学ポイントと見学コースが整備される予定です。

#### 砂防の総合情報センター

国内外の砂防事業に関する文献やビジュアル資料を収集・整理・保存を行う「総合情報センター」を設置し、一般来館者への情報公開や砂防関係者の研修活動を支援します。

#### 整備計画

今年度から屋内博物館の建設と野外ゾーンの整備が始まり、平成十年の春のオープンを目指します。

## 関所と文化

朝日町立ふるさと美術館館長  
岡本 輝夫



▲朝日町立ふるさと美術館

富山県と新潟県との県境には境川が流れている。この川を挟んで富山県側は朝日町境、新潟県側は青海町玉ノ木が接している。境は飛騨山脈が富山湾に落ちこむ狭隘な所である。藩政時代、加賀藩は境に関所を置いた。境関所は、箱根の関所に倍する規模を有し、一般通行人を取締まる岡番所と渡海船などを監視する浜番所の両関所を併置して、厳重な警備を行っていた。加賀藩が境関所を藩の治安維持、軍事の上でいかに重要視していたかが窺える。

二代目奉行長谷川宗兵衛は、隣国越後の情勢をいち早く探知しようと、禁止されていた他国人との縁組みの掟を破り、娘を越後に嫁がせた。やがて、このことが発覚し、宗兵衛はもろろんその子供らもすべて処刑された。

境関所設置の年代には諸説があるが、いずれの説にしろ慶長年間（一五九六―一六一四）前後であることは間違いない。以来、明治二年（一八六九）に廃止されるまで、およそ二七〇年間も隣村との交流が厳しく禁じられていたことになる。

奉行と与力、足輕は、金沢から派遣され、奉行は四十二代を数えている。奉行を始めとする加賀藩の役人が金沢から茶道や連歌、俳句、謡曲などを伝え、かたや宿場町であった泊（現朝日町の中心街）にも旅の絵書たちが逗留したことも想像に難くない。これら役人と文化墨客が多く往来し、各地のいろいろな文化をもたらしたと推察される。このことが朝日町に多くの芸術家や芸能人を輩出している要員のひとつでもあると思われる。

平成の時代にあっても、僅か百メートル程の境川を挟んで言葉がまったく違う。富山県側は、声が大きく早口であり、新潟県側は悠長でやさしい語り口で、言葉にくせがないように聞こえる。

。境川は、廃藩置県まで文字通り長い間越中と越後の境をなし、一方で文化を完全に遮断し、一方で文化をどんどん運びこむ役割を果たしたと言える。

朝日町立ふるさと美術館では、郷土にゆかりのある作家を中心に企画展を開催しているが、開館してから今年度で五周年を迎えた。これを記念して、四月から「日本表現派の主張II長崎莫人展」を開催しており、かつて朝日町に松尾芭蕉が旅の途中に立寄りたり、竹久夢二が逗留したことになみ、夏には「奥の細道・美の世界」展、秋には「竹久夢二展」を企画している。文化の往来に関所を設けてはならない。展覧会が美術鑑賞のみならず、文化の交流の一端でも窺う機会になればと期待している。



境一里塚

県境の境川に架かる国道八号線境橋の西方海側にある、榎等が繁る高さ約3mの小さな塚。このような塚は、県内でもほとんどその姿を消し、江戸時代の陸上交通の状況を語る遺跡としては、大変貴重なものである。





お知らせ

### 平成8年 歌会始のお題及び詠進歌について

**お題** 「苗」

**詠進要領** 詠進歌は未発表の自作で、一人一首に限り、用紙は半紙とし、毛筆で自書して下さい(書式図参照)。病氣等で代筆する場合は、代筆の理由と代筆者の住所氏名を記載した別の紙を添えて下さい。点字でも応募できます。

**詠進期間** 9月30日まで(当日消印有効)。

**あて先** 〒100 東京都千代田区千代田 1番1号  
宮内庁(封筒に「詠進歌」と書き添えて下さい。)

**問合せ** 県庁秘書課  
☎0764-32-2826

書式図

苗	郵便番号	氏名	住所
	職業	生年月日	

(約24センチメートル)  
(約33センチメートル)

### 「安全で安心して暮らせる社会フォーラム」開催

消費者や事業者への普及啓発を図るため、県では経済企画庁と共催で「安全で安心して暮らせる社会フォーラム」を開催します。

**時間** 午後7時～8時45分

**受講料** 無料

**申込み** 福光町福祉会館  
〒939-16 福光町米町5260  
☎0763-52-3022

または、県生涯学習カレッジ  
〒930 富山市舟橋北町7-1  
☎0764-41-8635(内線236)

### 自動車税の納付はお済みでしょうか

自動車税は、4月1日現在の所有者の方に負担していた税金です。

県税事務所から、5月上旬にお送りする納税通知書により、最寄りの金融機関又は県税事務所の窓口で、5月31日までに納めて下さい。

・納税証明書は車検証と一緒に保管を、納税通知書には、自動車の車検用の納税証明書がついています。領収印が押された納税証明書は、車検を受けるときに必要ですので、車検証と一緒に大切に保管して下さい。

・名義変更・抹消・住所変更などの登録をお忘れなく、自動車を廃車にされたり、下取りに出されたとき、転居さ

啓 発

### みなさんの相談窓口

- 県政について**  
県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内) ☎(0764)31-4111(代) 31-3131(県民相談電話)
- 高岡地方県民相談室** 高岡市赤祖父211(総合庁舎内) ☎(0766)21-9411(代)
- 魚津地方県民相談室** 魚津市新宿10-7(総合庁舎内) ☎(0765)24-5311(代)
- 砺波地方県民相談室** 砺波市幸町1-7(総合庁舎内) ☎(0763)33-5151(代)
- 物価ダイヤル**  
物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。☎(0120)16-7400(県庁県民生活課内)
- 消費生活について**  
消費生活センター  
富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内  
(一般相談は) ☎(0764)32-9233  
(金融相談は) ☎(0764)32-3252
- 消費生活センター高岡支所**  
高岡市本丸町7-1 本丸会館内 ☎(0766)25-2777
- 交通事故については**  
富山県交通事故相談所東別館1階  
☎(0764)31-4111 内4400
- 相談110番 相談**  
家庭問題・悪質商法・覚えいかなど、どんな相談にも応じます。  
☎(0764)42-0110
- シルバー110番**  
高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター  
富山市舟橋南町5-14 社会福祉会館内  
☎(0764)41-4110
- よい子の育児電話相談**  
子育てに関して心配や悩みはありませんか。どんなことでもお気軽にお電話ください。  
☎(0764)33-4150(県生涯学習室内)

### 県からのホットニュース

- テレビ広報**  
■チューリップテレビ 毎週土曜日 AM9:30～9:45 「志の輔のふるさとトーク」
- 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00～9:30 「112万人のひろば-クイズ/フォーカス・イン」
- 北日本放送 毎週日曜日 AM11:00～11:30 「こんにちは富山県です」  
5/7 生み育てやすい環境づくり  
5/14 私たちのふるさとづくり ～大門町～  
5/21 学校教育は今  
5/28 ごみ減量化に向けて
- ラジオ広報**  
■FMとやま「ふれあいホットライン」  
県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでお届けします。  
毎週月～金曜日 AM9:50～9:55
- 新聞広報**  
■北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日  
毎月第2、最終土曜日  
「県からのお知らせ」

### 平成7年6月街頭献血日程

日曜日	献血場所	時間
3	JR富山駅前	10:00～16:30
4	JR富山駅前 JR高岡駅前	10:00～16:00 10:00～16:30
10	富山市「アピタ」 ショッピングセンター前	10:00～16:30
18	富山西武デパート前	10:00～16:30
19	立山町役場前	12:30～16:30
25	富山市中央通り	10:00～16:30
27	上市町役場前	9:30～12:00

\*都合により変更する場合がありますので、当日の新聞・テレビの街頭献血案内等で確認下さい。  
◎富山県赤十字血液センターでは、毎土曜日及び第2・第4日曜日も開所し(祝祭日除く)、献血を受け付けています。  
富山県赤十字血液センター  
富山市飯野26-1 TEL (0764)51-5555

**日時** 5月26日(金) 午後1時～4時

**場所** 北日本新聞ホール

**内容** ・基調講演「製造物責任法の必要性」  
・講師 北川善太郎(京都大学教授)  
・パネルディスカッション  
テーマ「安全で安心して暮らせる社会をめざして」

**定員** 250名

**入場料** 無料

**問合せ** 県庁県民生活課 ☎0764-44-3129

### 幼児医療費助成(新設)のお知らせ

県では、「子どもが健やかに生まれ育つ社会」の実現を目指す施策の一環として、従来の乳児(0歳児)の入院・通院医療費の助成に加え、新たに、市町村とともに未就学児の入院医療費の助成を行います。

**対象者** 1歳から小学校就学前までの者

**助成対象** 入院(日数の制限はなし)

**本人一部負担金** 入院1日につき700円

**申請方法** 医療機関に医療費を一旦支払った後、市町村に申請してください。なお、保護者の負担を省くため、郵送による申請も受け付けます。

**開始時期** 平成7年6月から

**問合せ** 県庁健康課 ☎0764-44-3226  
または市町村乳幼児医療費助成担当課

### 富山県埋蔵文化財センター企画展 「古代人の食生活」

人々の生活と深いかわりのある食器や調理具の移り変わりを通して、古代人の食生活の様子を探ります。

**期間** 平成7年6月7日(水)～10月12日(木)

**休館日** 土曜日、日曜日、国民の祝日

**入館料** 無料

**問合せ** 富山県埋蔵文化財センター  
☎0764-34-2814

### 愛鳥週間のお知らせ

今年も5月10日(水)から愛鳥週間が始まります。

県ではこの期間中、小学生の調査員による第25回ツバメの生息数調査を行います。巣のある家には「ツバメのお宿」シールを配りますのでご協力をお願いします。

また、愛鳥ポスター・標語の募集やバードウォッチングのほか、水鳥の危険防止のため、捨てられた釣り糸・釣り針を回収するシーサイドクリーンデーなど多彩な行事を計画しています。多くの皆さんの参加をお待ちしております。

**問合せ** 県庁自然保護課 ☎0764-44-3397

### 「春の全国交通安全運動」実施

5月11日から5月20日までの10日間、「安全は、ゆるするやさしさ まつゆとり」をスローガンに、春の全国交通安全運動が実施されます。

運動の重点は、

- 高齢者と子供の交通事故防止
- 若者の交通事故防止
- シートベルト着用徹底

### 富山県立近代美術館 村井正誠展

村井正誠は、日本の抽象絵画のバイオニアの一人として、広く知られている作家です。この展覧会では、これまで未公開だった初期の作品から、現在に至るまでの代表的な油彩画約100点を中心に、村井画伯の創作の軌跡の全貌を紹介いたします。おらからで生命力あふれる個性豊かな世界をご覧ください。

**期間** 5月13日(土)～6月25日(日)

**観覧料** 一般850円、高校・大学生600円、小・中学生350円(20人以上は団体割引)

**問合せ** 県立近代美術館 ☎0764-21-7111

### 国民宿舎「立山荘」オープン

春はアルペンスキーの醍醐味を、夏は咲き乱れる高山植物の色どりを、秋は錦織りなす鮮やかさを満喫下さい。

**営業期間** 4月25日から11月3日まで

**宿泊料** 大人6,480円・小人4,320円

**問合せ** 国民宿舎「立山荘」☎0764-42-3535

募 集

### 「平成7年度 県民カレッジ春季講座」開講

県民カレッジでは「地域文化の向上と心の豊かさを求めて」をテーマに、次の通り春季講座を開講します。

**日程**

5月19日(金) 演題 「日本文明に成熟は可能か」  
講師 評論家 西部 遼

5月23日(火) 演題 「癒しの環境―患者と医療をつなぐ―」  
講師 日本医科大学助教授 高柳和江

**会場** 福光町福祉会館(定員300人)

### 平成7年「児童福祉週間」標語 『子どもたちの本当の声を傾けよう』

毎年5月5日(子どもの日)から5月11日までの1週間は、「児童福祉週間」です。

近年、出生率の低下、核家族化や都市化の進展、女性の社会進出の増大、学校週5日制の施行など、子どもを取り巻く環境が大きく変化している中で、次代を担う子どもたちを健全に育成することは、社会全体の重要な課題となっております。

このため、行政をはじめとして、家庭や学校、地域社会が一体となって、よりよい児童環境づくりに取り組むことが求められています。県民の皆さんのより一層のご理解とご協力をお願いします。



五月

お鎌さま祭り

大沢野町

# よまの祭事記



大沢野町の布尻地区と町長地区には、二神体が木の鎌であるというユニークな祭りが引き継がれている。二神体は「お鎌(おっか)さま」と呼ばれ、一年交代で両地区交互にまつられている。祭りは、その受け渡しの儀式として毎年五月十九日に行われ、今年も布尻が町長からお鎌さまを迎える。

夜になると、笛や太鼓がにぎやかに鳴らされる中、布尻神社からお鎌さまを迎えるための神輿が町長神社へと向かう。町長神社では、境内に四、五メートル程の高さに積まれたかがり火が付けられ、数人がタイムツを振って神輿を迎える。宮司による受け渡しの儀式が済むと、お鎌さまは神輿に納められる。お鎌さまは木の箱に入っており、通常は直接人の目に触れること

## 五穀豊饒の願いを木の鎌にこめる

### 木のお鎌にこめる

はないという。

お鎌さまを納めた神輿は、今度は町長の人たちに担がれて布尻神社へ向かう。この神輿の下をくぐると病氣にかからないといわれ、道中、神輿の下をくぐろうと大勢の人々が家から出てくる。地区境につくと、神輿の担ぎ手は布尻の人たちに交代する。この時、「お鎌(おっか)さま」ごさった豊作だ。満作だ。」とはやされる。

この祭りの由来については定説がなく、江戸時代に伊勢の外宮の御師という神職が、鎌形の二神体を豊作の神として伝えたとも、明治に布尻地区の者が郡上八幡を訪れ、二神体の鎌をゆずり受けたともいわれている。いずれにしても、農民たちにとって鎌は生活の要であり、大切なものであったに違いない。その思いがこの祭りを支えてきたのであろう。

やがて、神輿が布尻神社に着くと納めの式が行われる。人々の願いがこめられたお鎌さまは、宮司の手によって本殿に納められ、今年一年、布尻から人々を見守ることになる。祭りが終わる頃には夜もすっかり更け、いつしかあたりは静寂に包まれてゆく。



## 暮らしのアドバイス

# Q&A

## ストレスと上手に付きあおう



大丈夫?



仕事

A

Q

主人はよく「疲れた、疲れた」といいます。仕事でいろいろとストレスが多いようです。うまくストレスに対処していく方法はないものでしょうか?

ストレスと一口にいてもいろいろなものがありますが、一般的には対人関係や仕事からくる心理社会的ストレスのことを指します。

入学や別離、転居など「生活上の出来事」が心理社会的ストレスの原因となりますが、最近では、気掛かりや心配、渋滞でのイライラなど「日常の苛立ちごと」が重視されるようになりました。

私たちの体はストレスがかかると、自律神経、ホルモン、免疫などの働きで防御しながら自分を守ります。この守りのメカニズムに歪みが生じたり、うまく働かなかつたりすると、病気が引き起こされます。胃潰瘍、喘息、高血圧などの心身症や適応障害、神経症やうつ病といった心の病が現れることとなります。

さて、ストレスに対処するには、レクリエーションや趣味に興じたり、スポーツで体を動かしたりして気分転換を行うことが有効です。また、家族や友人と会話したり、ゆっくり休息をとり、「脱日常」を心掛けることも大切でしょう。しかし、いずれにせよストレスが全くなしの状態で生活することは不可能です。ストレスから逃げるのではなく受入れられるほどの気持ちで、うまく共存していくのが現代人の暮らしだともいえるでしょう。

相談は、県精神保健センター、電話0764(21)1511、このころの電話相談、電話0764(93)7272

## 編集後記

★「富山はやっぱりお魚が美味しい。東京では寿司を食べる気になりませんね」という早勢さんの言葉に、その通りと思わず頷いてしまった。反面、「富山に欲しいのは遊び心かな」とも……。テレビで見る機会も多い彼女だが、実際会ってみるとことなく庶民的。これから一層活躍されるよう心から応援しています。(K)

★「ようやく、なのか、もう、なのか...」  
広報課に配属され一年が過ぎた。広報紙ではコーナーの担当をただけであったが、もともと文を書くのは得意な方ではなく、編集長には迷惑をかけるばかりであった。

今月で広報紙からはとりあえず離れることになったが、機会があったらまた紙面でお会いしたい。(N)  
★すっかり暖かくなり、心も体もウキウキする季節となった。世間では進学・就職等新たな環境での生活をスタートさせた方も多いことだろう。私も四月から「県広報とやま」に携わらせていただくこととなり、新たなスタートをきったところである。今の新鮮な気持ちを忘れずに頑張っていきたい。(A)

今月号で掲載したPIN UP TOYAMAの写真を抽選で5名の方にワイド六ツ切(25×18センチ)でプレゼントします。希望される方は、官製ハガキで下記の様式でお申し込みください。6月24日消印有効です。

氏名	富山県広報課
住所	写真プレゼント
電話	5月号係あて
本誌を読んだ感想	



# お気軽にご相談ください。

## 県の相談窓口の紹介

県では、県政をはじめ消費生活、子育て、警察など幅広い分野の相談窓口を開設し、県民の皆さまのご相談に応じています。どうぞお気軽にご利用ください。

### 県政についての相談

県政一般に関するお問い合わせ、要望、照会など

県民相談電話（県庁内） ☎0764-31-3131

高岡地方県民相談室 ☎0766-26-8400

魚津地方県民相談室 ☎0765-22-9100

砺波地方県民相談室 ☎0763-32-8100

（なお、県民相談ファックス

☎0764-44-3300もご利用ください。）

### 消費生活相談

商品やサービスについての苦情、商品の選び方、消費者金融など

県消費生活センター ☎0764-32-9233

同センター高岡支所 ☎0766-25-2777

### 交通事故相談

交通事故について

県交通事故相談所 ☎0764-31-4111

内線4400

### 警察総合相談

暴力団、悪質商法などの悩み事の相談、警察に対する要望など

県警総合相談室 ☎0764-42-0110

### よい子の 育児電話相談

子育てに関する心配や悩み事など

県庁生涯学習室 ☎0764-33-4150

### 教育相談

児童・生徒の教育、しつけなどについて  
（5/29～6/9は、発達相談週間です。）

県総合教育センター ☎0764-44-6167